カメあら

Camera A la carte

まちの出来事

10/12 交通安全に役立てて

（市役所）

仕事を持つ女性の奉仕団体「高梁ベンチャークラブ」の会長が市役所を訪れ、「交通事故防止のために役立ててください」と横断旗２００本と横断旗の収納ケース２０個を寄贈しました。

寄贈された横断旗と収納ケースは、子どもや高齢者の安全を守るため、市内交差点に設置するなど有効に活用されます。

10/16 秋の休日を満喫

（川上マンガ絵ぶた公園一帯）

「かわかみふるさと物産まつり」（同実行委員会主催）が行われました。

「ふるさと物産」特売市では、地元の手作り特産品や新鮮野菜などが販売され、大勢の買い物客でにぎわいました。

ステージでは、川上児童館リズム体操や渡り拍子などを披露。大道芸、ものまねショーなどもあり、会場は笑いの渦に包まれていました。

10/22 健康で心豊かな生活を

（総合文化会館周辺）

健康や福祉への理解を深めようと「市健康福祉のつどい」（市・市社会福祉協議会主催）が開催されました。

ボランティア活動や社会福祉に功績のあった市民や団体を表彰。東日本大震災の被災地で活動した保健師が支援活動を発表しました。

子ども神楽や健康寸劇、作品展示や各種相談会もあり、参加者は日ごろからの健康づくりの大切さを再認識していました。

10/25 B級グルメが給食に登場

（川上幼稚園）

市のＢ級グルメ「インディアントマト焼きそば」が市内幼稚園、小・中学校の給食として登場しました。

昭和50年代にカレー味の「インディアン焼きそば」が学校給食に出され、子どもたちに人気がありました。今回は特産品のトマトを加えた「インディアントマト焼きそば」として復活し、地産地消の推進につなげようと実施されました。。

11/5 環境の大切さを学ぶ

（市内大型店舗）

「第６回環境フェア in たかはし」（市環境衛生協議会主催）が開催されました。

公衆衛生の向上のため４年以上活動している市内４組の団体・個を表彰。ゴミの分別方法や自然環境の保全などの環境にかかわる展示がありました。

駐車場会場では、ソーラーパネルを利用した展示のほか、太陽光発電などの相談会も開かれ、来場者は環境の大切さを学ぶ機会となりました。

11/6 安全なまちにしよう！

（高梁消防署前）

火災予防意識の向上を目的とした「秋の火災予防運動」（11月9日～15日）を前に市消防団防火広報パレードが行われました。

各分団は、「消したはず　決めつけないでもう一度」を全国統一防火標語として、火災予防を市民に呼び掛けました。

市内の火災発生件数は、10月末現在で29件。昨年の同時期に比べて、８件の増加となっています。

編集後記

▼ヒルクライムの取材は、会場が広いため、スタッフを増員しての撮影体制となり、おかげでいろいろな感動シーンを収めることができました。私はスタート会場を担当。短いシャッターチャンスに加え、雨も降り始め、いつも以上に緊張しながら、スタートの瞬間を待ちました。今月号では、大会の各場面を組写真にして、紹介しましたので、ご覧ください。（ＨＯ）

▼ヒルクライムが終了しました。８月にコースを試走してみて、10月30日のレース当日に走る意味をずっと考えていました。「大会に出場しなくても、個人的に吹屋まで走っても楽しいのではないだろうか…」と。答えが見つかりました。ボランティアスタッフの皆さん、沿道での声援、ゴール地点での食事のおもてなしなど。高梁の人の温かさを感じました。次回は、もっともっと、すばらしい大会になることでしょう。（ＫＨ）

▼私の地元に庚申（こうしん）堂というお堂があり、毎年夏になると、長さ20㌢の大きな数珠を住職の読経に合わせて１００回まわす「数珠まわし」を行い、無病息災を祈っていました。幼い記憶の中に楽しく参加していた風景が残っていますが、時代の流れと共にその姿を消し、忘れ去られようとしています。今できることは、わずかに残る経験者から引き継ぎ、次の世代へと継承していかなければと思っています。（ＫＹ）